

景況

2013.10月～12月期

天気マークの見方

天気 マーク		
	特に好転	好転
DI値水準	25以上	10～24
	まあまあ	悪化
9～▲9	▲10～▲24	▲25以下

DI=(増加・好転などの回答割合)
-(減少・悪化などの回答割合)
※()内は前期調査結果

業況はマイナス幅縮小、製造・建設は持ち直しの動き

当商工会議所が実施した今期（10月～12月）の中小企業152社の景況調査結果によると、全産業の業況DI（前年同期比）は▲11・0で、前期の業況DI ▲12・6と比べて1・6ポイント「P」増となった。業種別に見ると小売業が大きく悪化したものの、製造・建設業が持ち直し、全体としては前期よりもプラスとなった。

業況以外のDIでは、売上・資金繰り・採算の全項目において、堅調に推移している。

業種別のDI（前年同期比）を見ると、小売業は▲28・0（前期比▲20・6 P）と大きく悪化している。その一方で、製造業は▲11・5（同+16・1 P）、建設業は3・8（同+15・3 P）と大きく持ち直した。

④採算	③資金繰り	②売上額	①業況	全産業	
				前年同期比	来期見込
				▲9.7 (▲10.7)	▲5.6 (2.5)
				▲4.8 (▲5.6)	▲4.8 (1.2)
				▲4.8 (▲7.5)	▲4.1 (11.0)
				▲11.0 (▲12.6)	▲0.7 (5.0)
④採算	③資金繰り	②売上額	①業況	製造業	
				前年同期比	来期見込
				▲11.5 (▲17.2)	11.5 (▲3.4)
				0.0 (▲10.7)	▲7.7 (▲3.6)
				▲3.8 (▲13.8)	11.5 (▲3.4)
				▲11.5 (▲27.6)	7.7 (▲14.3)

来期（平成26年1～3月）の全産業の業況DI見通しは▲0・7（前期比+4・3 P）となり、前回調査時と比較すると、製造・建設業の回復が牽引し、若干の改善傾向を示している。

また、平成26年4月の消費税増税の影響や対策については「表示方法に戸惑っている」（サービス業）、「増税前に一括した商品仕入れを検討中」（卸売業）等のコメントがあった。

④採算	③資金繰り	②売上額	①業況	建設業	
				前年同期比	来期見込
				▲7.4 (▲18.5)	▲11.1 (▲11.5)
				7.4 (▲7.1)	0.0 (▲3.6)
				15.4 (▲11.5)	▲7.4 (15.4)
				3.8 (▲11.5)	7.1 (▲7.7)
④採算	③資金繰り	②売上額	①業況	卸売業	
				前年同期比	来期見込
				▲16.7 (▲18.5)	▲17.4 (3.7)
				▲20.8 (▲14.8)	▲17.4 (3.7)
				▲30.4 (▲18.5)	▲8.7 (22.2)
				▲33.3 (▲40.7)	▲13.0 (▲7.4)

④採算	③資金繰り	②売上額	①業況	小売業	
				前年同期比	来期見込
				▲20.0 (▲7.1)	▲8.3 (▲6.9)
				▲23.1 (▲6.9)	▲12.0 (0.0)
				▲30.8 (▲10.3)	▲4.0 (10.0)
				▲28.0 (▲7.4)	▲8.3 (▲6.9)
④採算	③資金繰り	②売上額	①業況	サービス業	
				前年同期比	来期見込
				0.0 (0.0)	▲4.7 (2.1)
				4.5 (4.1)	4.4 (6.0)
				11.1 (6.0)	▲8.7 (11.8)
				2.3 (8.0)	0.0 (3.9)